

事務事業評価一覧(課別)

令和5年度

市民環境部環境衛生課

(単位:千円)

事務事業名 計:	決算額	改善方向性		シートNo.
	3,250,614	コスト	成果	
1781 合併処理浄化槽設置整備事業	91,642	↑	↑	234-01
1783 環境学習推進事業	61	→	↑	213-01
1785 狂犬病予防事業	1,203	↓	→	213-02
1786 環境美化・河川環境保全推進事業	2,111	→	→	213-03
1787 墓地維持管理事業	3,122	→	→	231-01
1789 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業	2,347	→	→	234-02
1791 植林地維持管理事業	587	→	→	211-01
1792 地球温暖化対策推進事業	8,266	↑	↑	223-01
1795 生物多様性保全推進事業	15	→	→	211-02
1796 衛生確保対策事業	577	→	→	213-04
1798 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業	8,280	→	→	213-05
1799 国分斎場管理運営事業	142,912	↑	↑	231-02
1803 資源物中間処理・保管事業	71,279	→	→	221-01
1804 資源物分別基準適合物再商品化事業	743	→	→	221-02
1805 資源物分別収集推進補助事業	14,590	→	↑	221-03
1808 蛍光灯・乾電池処理事業	3,579	→	→	222-01
1809 ごみステーション設置費等補助事業	1,618	↓	→	222-02
1810 ごみ適正処理啓発事業	403	→	→	222-03
1811 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業	553	→	↑	221-04
1812 家庭系一般廃棄物収集運搬事業	317,381	→	→	222-04
1814 ボランティア清掃廃棄物処理事業	7,641	→	→	222-05
1815 不法投棄対策事業	578	→	↑	222-06
1816 ごみ処理場管理運営事業	1,332,057	→	→	222-07
1817 安定型最終処分場管理運営事業	2,039	→	→	222-08
1819 (仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業	980,118	→	→	222-09
1820 し尿処理場管理運営事業	234,602	→	→	222-10
2211 海岸漂着物対策推進事業	348	→	→	211-03
2671 牧園横川クリーンステーション管理運営事業	21,849	→	↑	222-11
2710 高齢者等ごみ戸別収集事業	113	→	↑	222-12

1. 基本情報						
事務事業名	1781 - 合併処理浄化槽設置整備事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らしたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	4. 水の安定供給と適正な排水処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	04 衛生費
				科	項	02 環境衛生費
				目	目	01 環境衛生総務費
				事業期間	平成3年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	浄化槽法、霧島市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう		関連計画	第二次霧島市生活排水対策推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽もしくは高度処理型合併処理浄化槽へ切換えを行う市民に対し補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し自然環境の保全を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民	下水道供用開始区域及び事業認可区域以外に居住している市民人口	人	79,629	79,000	79,032	78,400
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 合併処理浄化槽で生活排水を処理する	処理人口(合併浄化槽による処理人口)	人	62,407	63,300	63,187	64,100
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	90,223	91,642	94,399	5人槽:139基、7人槽:12基、10人槽:1基、合計:152基 (内訳) 単独処理浄化槽からの転換:99基 くみ取り便槽からの転換:53基 汚水処理人口普及率及び生活排水処理率は年々向上しており、公共用水域の水質改善が図られた。	
財源内訳	国庫支出金	45,051	45,939		47,124
	県支出金	14,005	14,403		14,808
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
一般財源	31,167	31,300	32,467		

5. 振返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	現在、約17%の市民が単独処理浄化槽やくみ取り便槽を利用しているが、その多くは高齢者世帯であることが予想され、補助制度があるとはいえ自己負担が必要であることなどから、ここ数年は設置基数が大幅に伸びない状況がある。このような中、国はくみ取り便槽からの転換に係る宅内配管工事に対する補助制度を開始しており、本市においても当該補助制度の創設について引き続き検討を行うとともに、県に対して補助制度の拡充等を要望していく。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報								
事務事業名	1783 - 環境学習推進事業			所属	環境衛生課			
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			予	会計	01	一般会計	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成				款	04	衛生費	
基本事業名	3. 環境保全意識の向上			算	科	項	02	環境衛生費
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。					目	01	環境衛生総務費
						事業期間	平成25年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし			
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等	①②環境保全意識が向上する		関連計画	第二次霧島市環境基本計画			

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 市民を対象とした環境学習会等を実施する事業。環境について学習する機会を提供することにより、市民一人ひとりが環境に配慮した生活や行動をとるためのきっかけ作りを行い、環境学習の推進を図る。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 環境に関する関心と理解が深まる	環境学習会参加者数	人	218	250	200	250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		57	61	122	【緑のカーテン作り方講座(令和5年5月27日)】 参加団体数: 59団体(81グループ: 101名) 緑のカーテンの普及と地球温暖化対策の啓発に取り組んだ。アンケートでは、71%の方が「取り組みを評価する」と回答し、87%の方が「来年も取り組みたい」と回答している。 【環境パネル展(令和5年6月1日～令和5年6月14日)】 市役所を訪れる方に対し湾奥の環境保全等について学ぶ機会を提供した。 【学ぶ環境体験学習塾(令和5年8月4日)】 参加者数: 43名 小学生とその保護者を対象に、地球温暖化・自然エネルギーについての意識啓発を図った。 【～縄文の森で環境学習～ネイチャーゲームをしよう!(令和6年1月13日)】 参加者数: 19組56名(児童19名、同伴者37名) 豊かな自然の持つ様々な表情を楽しめる自然体験活動(ネイチャーゲーム)等を通し、自然の不思議や仕組みを学んでもらい、環境保全への意識啓発を図った。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	57	61	122		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	近年の環境問題の動向に応じて新たなテーマの環境学習会が開催できないか検討を行うことで、より多くの市民が学習できる機会の創出を図る。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1785 - 狂犬病予防事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	3. 環境保全意識の向上				予	会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。				算	01 一般会計
					科	04 衛生費
					目	02 環境衛生費
				目	01 環境衛生総務費	
	事業期間				昭和25年代～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	狂犬病予防法、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止する事業。主に狂犬病予防法に基づく犬の登録や狂犬病予防集合注射を実施する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市内で飼育されている犬及びその所有者	犬の登録頭数	頭	5,927	6,000	5,765	6,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 狂犬病予防注射を受ける	狂犬病予防注射接種率	%	70	70	75	70
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		980	1,203	1,256	狂犬病予防集合注射を春と秋の2回各地区にて実施し、また、広報誌等で狂犬病予防の啓発活動を行うことにより、狂犬病の発生及びまん延の防止に努めた。 【集合注射実施結果】 春の集合注射:18日間 246会場 1,127頭 秋の集合注射:8日間 96会場 232頭
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	980	1,203	1,256	
一般財源	0	0	0		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	引き続き、関係機関との連携を図り、予防注射の接種率向上に努めるとともに、集合注射の日数や会場の見直しを行い、業務の改善を図る。	
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小		

1. 基本情報						
事務事業名	1786 - 環境美化・河川環境保全推進事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	3. 環境保全意識の向上			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。			算	款	04 衛生費
				科	項	02 環境衛生費
				目	目	01 環境衛生総務費
				事業期間	平成20年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市環境基本条例、霧島市生活環境美化条例
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	第二次霧島市環境基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

生活環境美化・河川環境保全等に関することを普及・啓発及び推進する事業。主に市内全域への環境美化推進員及び河川環境保全推進員の配置や飼い主のいない猫の繁殖抑制対策を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 環境美化・河川環境保全推進員	推進員数	人	68	70	67	70
ウ 地域猫活動やTNR活動を行う個人・団体	不妊去勢手術申請頭数	匹	106	180	176	180
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 環境美化・環境保全に関する意識が高まる	身近な生活環境への満足度(市民意識調査)※令和5年度未実施	%	77	79	0	81
イ 地域の環境美化等のリーダー的役割を果たす	説明会・研修会への参加者数	人	0	70	29	70
ウ 飼い主のいない猫の繁殖抑制のための不妊去勢手術が積極的に行われる	不妊去勢手術済頭数	匹	17	24	8	36

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	2,089	2,111	2,256	67名の環境美化推進員及び河川環境保全推進員が環境パトロールを行い、ポイ捨てごみの収集や犬のふんの放置に対する指導、不法投棄ごみの通報等の活動を通して、広く環境美化に貢献した。 さくらねこ無料不妊手術事業については、市内在住の個人等が実施するTNR活動を支援することで、飼い主のいない猫に起因する生活環境被害の軽減等に努めた。 不妊去勢手術済頭数: 8頭	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,884	1,825	2,250	
	一般財源	205	286	6	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報				
事務事業名	1787 - 墓地維持管理事業			
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)	所属	環境衛生課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進			
基本事業名	1. 良質な住環境の整備		予	会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。		算	01 一般会計
			科	04 衛生費
			目	02 環境衛生費
			目	01 環境衛生総務費
		事業期間	昭和55年代～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)	意図(どうしたいか)	根拠法令 条例等	墓地、埋葬等に関する法律、霧島市営墓地の設置及び管理に関する条例等
	①市民 ②公園利用者	①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる	関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

市営墓地の適切な管理を行うとともに、共同墓地運営を支援する事業。
 【市営墓地】
 ・宇都墓地、久保山墓地公苑、しもづる墓地公苑
 【共同墓地の持続性確保等を目的とした支援】
 ・共同墓地の水道料金助成等

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市営墓地の利用者	利用区画数	区画	585	585	584	584
イ 共同墓地	共同墓地数	箇所	321	322	322	322
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 公衆衛生その他公共の福祉の見地から、埋葬等が支障なく行われる	利用率	%	94	94	92	93
イ 共同墓地の持続性が保たれる	共同墓地廃止数	箇所	0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		3,409	3,122	3,921	市営墓地の空き区画を利用希望者へ配分(宇都墓地:4件)することで、埋葬等が支障なく行われるよう努めた。 また、市営墓地を快適に利用できるよう、草払い等を実施し、適正な維持管理を行った。 共同墓地については、水道料金の助成等を行うことにより、墓地経営の持続性が保たれるよう支援した。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	148	182	140		
一般財源	3,261	2,940	3,781			

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1789 - 生活排水対策推進計画策定及び進行管理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進					
基本事業名	4. 水の安定供給と適正な排水処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。 ②下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。			算	款	04 衛生費
				科	項	02 環境衛生費
				目	目	02 環境対策費
				事業期間	平成18年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	環境基本法、水質汚濁防止法
	①②市民・事業者		①安全でおいしい水を利用できる ②排水を適切に処理してもらう		関連計画	第二次霧島市環境基本計画、第二次霧島市生活排水対策推進計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域に指定されている本市の公共用水域等の状況を把握する事業。主に河川や事業場排水等の水質調査を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 河川(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	122	122	122	122
イ 事業場(用排水路含む)	延べ調査地点数	地点	52	50	50	50
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 河川水質を保全する	河川水質達成率	%	86	88	86	90
イ 事業場排水を適正に処理する	指導文書送付事業場数	事業所	11	11	11	10
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		4,554	2,347	2,450	河川及び事業場排水の水質調査を実施することにより、水質汚濁状況の経年変化が把握でき、今後の生活排水対策等における基礎資料とすることができた。 【河川水質調査】 調査回数: 年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期) 調査地点: 61地点 【事業場排水調査】 調査回数: 年2回(8月～9月の灌漑期、11月～12月の非灌漑期) 調査地点: 35地点
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	4,554	2,347	2,450		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	1791 - 植林地維持管理事業					所属	環境衛生課	
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)							
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							
基本事業名	1. 自然環境の保全					予	会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動物植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動物植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。					算	01	一般会計
						科	04	衛生費
						目	02	環境衛生費
			目	02	環境対策費	事業期間		令和3年度
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①森林 ②野生動物植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	第二次霧島市環境基本計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 10万本植林プロジェクト植林地の維持管理を行う事業。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 植林地外周部	植林地外周部面積	m ²	1,904	1,904	1,904	1,904
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 生育環境及び景観を保全する	除草等実施面積	m ²	3,494	2,504	2,504	1,904
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		766	587	390	除草作業等を実施したことにより、10万本植林プロジェクト植林地の景観及び生育環境の保全が図られた。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	756	500	300		
	一般財源	10	87	90		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1792 - 地球温暖化対策推進事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	3. 地球温暖化対策の推進				予 会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①環境等に調和した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、森林環境譲与税を活用した森林整備等を行い、森林の二酸化炭素吸収量を増加させる取組を推進します。 ②省エネルギー等の普及・啓発活動を継続的に推進し、地球温暖化防止に向けた意識の醸成を図ります。				算 科	04 衛生費
					目 項	02 環境衛生費
					目 目	02 環境対策費
					事業期間	平成20年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	地球温暖化対策の推進に関する法律第4条、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律第16条
	①②市民・事業者・森林 ②市民・事業者		①再生可能エネルギーを導入してもらう ①二酸化炭素吸収量が増加する ②地球温暖化防止に向けた意識が醸成される		関連計画	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

2050年までのゼロカーボンシティの実現に向け、地球温暖化対策実行計画(事務事業編、区域施策編)に基づいた施策を展開する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ 市職員	職員数	人	1,072	1,071	1,068	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 電気や化石燃料の使用量等を削減し、温室効果ガス排出量を削減する	市域全体の温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	t-CO ₂	0	567,000	0	550,000
イ 職員一人ひとりが意識して省エネ行動を実践する	市役所における温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	t-CO ₂	46,453	40,151	46,013	37,588
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	291	8,266	16	地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、市役所の事務事業に伴って排出される温室効果ガス削減のため、公共施設のLED化を進めるとともに、職員一人ひとりが省エネの意識をもって排出抑制に取り組んだ。 また、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けた取組の実効性を確保するため、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定に着手し、計画案を取りまとめた。		
財源内訳	国庫支出金	0	0			0
	県支出金	0	0			0
	地方債	0	0			0
	その他	0	5,500			0
一般財源	291	2,766	16			

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を令和6年6月までに策定・公表し、令和7年度以降に本計画に基づいた施策・取組を展開する。 令和6年度においては、家庭におけるエネルギー使用の低減及び温室効果ガスの排出削減を図る目的で、省エネ家電製品への買換えを支援する事業を実施し、令和7年度以降においては、同様の目的で高効率照明器具の買換え(LED化)を支援する事業を実施する。	
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充		

1. 基本情報							
事務事業名	1795 - 生物多様性保全推進事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課		
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成						
基本事業名	1. 自然環境の保全					予 会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。					算 款	04 衛生費
						科 項	02 環境衛生費
						目 目	02 環境対策費
						事業期間	平成26年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	生物多様性基本法	
	①森林 ②野生動物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される		関連計画	霧島市生物多様性推進プラン	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市生物多様性推進プランに目標として掲げた「生物多様性の考え方の普及および重点施策における生物多様性の保全・回復」を実現するための事業。主に市民を対象とした環境学習会の開催やクリスマスツツジの認知度向上に取り組む。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 生物多様性に関する理解が深まる	生物多様性について知っている市民の割合(市民意識調査)※令和5年度未実施	%	68	70	0	73
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移 R4(決算) R5(決算) R6(予算) 4. 令和5年度の実績・成果

事業費(千円)	0	15	18	生物多様性については、出前講座や講演会を実施し、意識啓発を図った。 また、クリスマスツツジに係る取組については、写真展を開催することで、認知度の向上に努めた。 【生物多様性に関する出前講座】 出前講座:2回 参加者:187名 【生物多様性に関する講演会】 開催日:令和5年10月30日(月) 参加者数:40名(環境美化推進員29名、市職員11名) 内容:海洋プラスチックごみが生物多様性等に及ぼす影響 【クリスマスツツジ写真展】 開催期間:令和5年4月11日～4月28日 場所:国分シビックセンター1階共通ロビー ※クリスマスツツジオープンガーデンについては、新型コロナウイルスの影響等により中止。
財源内訳				
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	0	15	18	

5. 振り返り<SEE (check) >

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN) >

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1796 - 衛生確保対策事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成					
基本事業名	3. 環境保全意識の向上				予 算 科 目	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。					04 衛生費
					02 環境衛生費	
					02 環境対策費	
					事業期間	平成26年度～
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	第二次霧島市環境基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

災害時の防疫や不快害虫の駆除を行う事業。主に災害防疫対策やヤンバルトサカヤステ対策を行う。

【災害防疫対策】
大雨等による家屋の床上・床下浸水が発生した場合に、感染症の原因となる病原体の蔓延を防止するため、被災家屋及びその周辺の速やかな消毒を実施する。

【ヤンバルトサカヤステ対策】
平成25年に本市では初めて確認された、外来生物のヤンバルトサカヤステ(不快害虫)を根絶するため、地域住民と協力して駆除を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	床上・床下浸水発生回数	回	4	0	2	0
イ 市民	ヤンバルトサカヤステ発生箇所数	箇所	0	0	1	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 感染症の発生を防止する	感染症の発生回数	回	0	0	0	0
イ 快適な生活環境を確保する	新たな発生箇所数	箇所	0	0	1	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	573	577	747	【災害防疫対策】 7月・8月の大雨で床上・床下浸水が発生したことから、感染症予防のため被害を受けた家屋などの消毒作業を実施し衛生の確保を図った。 ・7月3日大雨に伴う消毒作業件数:5件 ・8月18日大雨に伴う消毒作業件数:2件 【ヤンバルトサカヤステ対策】 ヤンバルトサカヤステについては、新たに1地区で発生が確認され、業者委託による駆除(薬剤散布)を実施した。また、ヤンバルトサカヤステの家屋への浸入を防止し、快適な環境づくりに寄与するため、ヤステ駆除剤を希望者に配布した。 ・駆除回数(薬剤散布回数):2回	
財源内訳	国庫支出金	0	0		0
	県支出金	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
一般財源	573	577	747		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	1798 - 河川景観保全アダプト(里親)制度推進事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課	
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成						
基本事業名	3. 環境保全意識の向上				予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。 ②地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。				算	款	04 衛生費
					科	項	02 環境衛生費
					目	目	02 環境対策費
					事業期間	平成23年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	天降川等河川環境保全条例、霧島市環境基本条例	
	①②学校、地域、市民、事業者、NPO等		①②環境保全意識が向上する		関連計画	第二次霧島市環境基本計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>							
河川景観保全に取り組む団体を河川アダプト団体として登録し、登録団体が河川堤防等で行う草払いなどの活動を支援する事業。							

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	人口	人	122,926	123,370	122,442	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア アダプト制度に登録し、美化活動に取り組む	アダプト制度に登録した市民の数	人	3,422	3,700	3,308	3,700
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果		
事業費(千円)		9,227	8,280	9,746	令和5年度は新規登録が5団体、廃止が10団体となった。休止団体を除く154団体(活動後廃止を含む)が、河川堤防の除草作業・ごみ拾いを行ったことで、河川景観の保全が図られた。 【令和5年度登録団体数等】 年度当初登録団体数:160団体 新規登録団体数:5団体 廃止団体数:10団体 年度末登録団体数:155団体		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	9,200	8,200	9,700			
一般財源	27	80	46				

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	1799 - 国分斎場管理運営事業					所属	環境衛生課	
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)					予	会計	
施策名	3. 快適生活の基盤づくりの推進							
基本事業名	1. 良質な住環境の整備					01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①市営住宅等の長寿命化や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。 ②利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。					算	04	衛生費
						科	02	環境衛生費
						目	03	火葬場費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		霧島市火葬場の設置及び管理に関する条例	
	①市民 ②公園利用者		①安心して住宅に住めるようになる ②快適に利用できる		関連計画		霧島市公共施設マネジメント計画	
事業期間								平成2年度～

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 霧島市国分斎場の維持や管理運営を行う事業。火葬炉等設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 火葬等	火葬等件数	件	2,254	2,200	2,592	2,400
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬が支障なく行われる	火葬等を行う際に支障があった件数	件	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	59,041	142,912	201,989	火葬等件数が増加する中で指定管理者と連携を図り火葬等が滞りなく行われた。 また、平成2年度に供用を開始し、老朽化した火葬炉設備の更新工事を令和5年度から令和7年度まで行う計画とする中で、令和5年度は火葬炉1基及び高圧受変電設備の工事を行った。 ○火葬等件数 火葬:1,500件 改葬等:1,092件
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	20,082	106,312	
一般財源	38,959	36,600	132,671	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和6年度以降においても、計画的に火葬炉の更新工事を行うことで将来に向けた施設の安定運転につなげる。
② コスト(予算)の方向性	↑ 拡充	

1. 基本情報									
事務事業名	1803 - 資源物中間処理・保管事業								
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課			
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成								
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化					予	会計	01	一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。					算	款	04	衛生費
						科	項	03	清掃費
						目	目	02	塵芥処理費
						事業期間		平成9年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)			意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	
	①②市民・事業者			①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画、霧島市分別収集計画	

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 家庭、事業所から排出・回収された資源物の中間処理・保管業務を民間事業者へ委託し、ごみの適正処理及びリサイクルを推進する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民が排出する資源物	搬入された資源物(紙類を除く)の量	t/年	1,764	1,800	1,859	1,800
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に中間処理・保管され搬出される	中間処理施設から適正に搬出された資源物(紙類を除く)量	t/年	1,669	1,700	1,761	1,700
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果		
事業費(千円)	69,220	71,279	72,142	資源物(紙類を除く)の中間処理及び保管業務が適正に行われ、循環型社会の構築に貢献した。市民が適切に分別を行い、ごみとしてでなく資源物として排出されたことで資源物の搬入量は昨年と比べて増加した。			
財源内訳	国庫支出金	0	0				0
	県支出金	0	0				0
	地方債	0	0				0
	その他	0	69,800				72,110
一般財源	69,220	1,479	32				

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	プラスチック製品のリサイクルについては市町村に努力義務が課せられている。清掃センター解体に循環交付金を利用する場合、要件によっては取組を行う必要があるため、他市の状況を注視しながら、方向性を決めなければならない。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1804 - 資源物分別基準適合物再商品化事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。				款	04 衛生費
					項	03 清掃費
					目	02 塵芥処理費
				事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画	特になし

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 容器包装リサイクル法に基づき、回収されたペットボトル・その他プラ・生きびん以外のびん類の再商品化を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 回収された再商品化対象の資源物	回収された再商品化対象の資源物の量	t/年	1,201	1,250	1,258	1,250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア きちんと再商品化される	再商品化された資源物の量	t/年	1,201	1,250	1,258	1,250
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	719	571	1,095	容器包装リサイクル法に基づき、指定法人である(公財)日本容器包装リサイクル協会に委託し、分別基準適合物(資源物)の再商品化業務が適正かつ安定的に行われた。また、同協会を通じて処理を行うことにより、容器包装の再商品化に係る処理費用を製造業者、使用者、市町村の3者で負担することで市の財政負担が少ない形で事業を実施できた。 (公財)日本容器包装リサイクル協会(指定法人)への搬出量 びん類(生きびん除く) 587t ペットボトル 303t プラスチック製容器包装 368t 合計 1,258t
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	719	571	1,095	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか? 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	プラスチック製品のリサイクルについては市町村に努力義務が課せられている。清掃センター解体に循環交付金を利用する場合、要件によっては取組を行う必要があるため、他市の状況を注視しながら、方向性を決めなければならない。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報							
事務事業名	1805 - 資源物分別収集推進補助事業						
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成						
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化				予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。					款	04 衛生費
						項	03 清掃費
						目	02 塵芥処理費
					事業期間	平成20年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む			関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 資源物の分別を啓発している自治会に補助金を交付する事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量	t	25,371	25,371	24,419	24,419
イ 家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量	t	25,371	25,371	24,419	24,419
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア きちんと分別されて出される	リサイクル協力率	%	7	7	6	7
イ きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数	枚	0	0	0	5,000
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		14,732	14,590	14,401	補助金交付団体数 785自治会 対象世帯数 39,129世帯(うち未加入者利用世帯数 4,620世帯) 補助金交付額合計 14,589,750円 家庭系資源物の回収量 1,574t	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	14,590	14,401		
	一般財源	14,732	0	0		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	分別によく取組んでいる自治会ほどインセンティブを付与することによりごみの減量化・資源化を推進する。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報										
事務事業名	1808 - 蛍光灯・乾電池処理事業									
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課				
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成									
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理					予	会計	01	一般会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。					算	科	目	04	衛生費
								目	03	清掃費
								目	02	塵芥処理費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)			根拠法令 条例等		特になし		
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される			関連計画		霧島市一般廃棄物処理計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 家庭から排出、回収された蛍光灯・乾電池の中間処理、運搬及び処分を民間業者に委託し、有害ごみの適正処理やリサイクルを推進する。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 回収された蛍光灯・乾電池	回収された蛍光灯・乾電池の量	t/年	35	38	40	40
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に運搬・処理が行われる。	適正に搬出された蛍光灯・乾電池の量	t/年	35	36	38	38
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果				
事業費(千円)		3,230	3,579	4,144	有害ごみとして分別収集を行うことで、適正な排出が図られた。回収した有害ごみは適正に運搬・処理が行われ、資源化された。				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	搬入量	搬出量			
	県支出金	0	0	0			蛍光灯	8.1t	7.4t
	地方債	0	0	0			乾電池	31.5t	30.1t
	その他	0	0	0			計	39.6t	37.5t
	一般財源	3,230	3,579	4,144					

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1809 - ごみステーション設置費等補助事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)				所属	環境衛生課
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理				予	会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。				算	01 一般会計
					科	04 衛生費
					目	03 清掃費
				目	02 塵芥処理費	
				事業期間	平成11年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市補助金等交付規則
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>						
ごみの適正処理・減量化に資するため、自治会がごみステーションの新設・改修を実施する際に必要な経費を補助する事業						

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 自治会管理のごみ収集所	自治会管理のごみ収集所数	箇所	1,711	1,711	1,716	1,716
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 衛生的に運用される	整備されたごみ収集所数	箇所	36	30	30	36
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	2,474	1,618	2,610	資源物収集所 16箇所 1,046,000円 可燃ごみ収集所 14箇所 572,000円 合計 30箇所 1,618,000円		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	1,618	2,610		
	一般財源	2,474	0	0		

5. 振返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できる
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	ごみ収集箱への広告掲載を補助金を交付する条件として付することができないか検討する。
② コスト(予算)の方向性	↓ 縮小	

1. 基本情報						
事務事業名	1810 - ごみ適正処理啓発事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。				款	04 衛生費
					項	03 清掃費
					目	02 塵芥処理費
				事業期間	平成9年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	循環型社会形成推進基本法
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 自治会ごみ収集所等に必要なコンテナ等の消耗品の購入や、ごみの適正排出を促すために不適切に排出されたごみに貼る「ごみ出し警告ラベル」の作成を行う事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	家庭から排出されるごみの量	t	25,371	25,371	24,419	24,419
イ 市民	分別アプリのダウンロード数	DL	2,421	2,421	2,437	2,437
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア きちんと分別されて出される	違反シールの貼付枚数	枚	0	0	0	5,000
イ 正しいごみの出し方を理解する	アプリのアクセス数	アクセス	172,571	172,571	191,375	191,375
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	309	239	350	廃食用油用ポリ容器購入 210個 ごみ出し警告シール購入 45,000枚
財源内訳	国庫支出金	0	0	
	県支出金	0	0	
	地方債	0	0	
	その他	0	0	
一般財源	309	239	350	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	在庫状況に応じて必要な収集容器等を配備する。また、収集業者への聞き取りを行い、今後の収集容器等の必要数量の把握に努める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1811 - 家庭ごみ減量化対策機器等購入補助事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	1. ごみの減量化・資源化			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。 ②生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。				款	04 衛生費
					項	03 清掃費
					目	02 塵芥処理費
				事業期間	平成11年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市補助金等交付規則
	①②市民・事業者		①②ごみの減量・資源化に取り組む		関連計画	霧島市環境基本計画、霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 ごみの減量化やリサイクルを推進するため、電気式生ごみ処理機等の一層の普及を図る事業。霧島市環境保全協会を通じて市民へ補助を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	10月1日世帯数	世帯	57,112	56,798	57,323	57,193
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア ごみの減量化に取り組む	減量化機器を購入した市民の数	世帯	30	30	30	30
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	529	553	580	交付申請件数 30件 交付金額 553,000円
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	529	553	580
	一般財源	0	0	0

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	電気式生ごみ処理機だけではなくコンポストを利用した生ごみ処理を普及することで、補助費用を抑えながら生ごみ処理に取り組む市民を増やせないか検討する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1812 - 家庭系一般廃棄物収集運搬事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	02 塵芥処理費
				事業期間	平成9年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	循環型社会形成推進基本法
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 一般家庭から出るごみの収集運搬業務を民間会社に委託し、ごみ処理を適正かつ効率的に行う事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 家庭から排出されるごみ	ごみ収集所数	箇所	1,711	1,711	1,716	1,716
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適切に収集運搬される	収集忘れの問い合わせの件数	件	0	0	0	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	305,491	317,381	324,382	収集した家庭ごみの量 可燃ごみ 20,897t 不燃・粗大ごみ 1,948t 資源物 1,574t 計 24,419t	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	314,176	314,368	
	一般財源	305,491	3,205	10,014	

5. 振り返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	ごみ収集所設置数が増加傾向にあるため、収集運搬の効率化等に配慮しながら適正に配置し、事業費の増大を抑制する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1814 - ボランティア清掃廃棄物処理事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	02 塵芥処理費
				事業期間		
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>						
自治会等が道路・側溝等のボランティア清掃を行った際に出る草木、土砂等の収集運搬・処分を民間業者等に委託し、適正に処理する事業						

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 自治会内の環境	自治会数	団体	832	832	829	829
イ 自治会内の環境	自治会数	団体	832	832	829	829
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア きれいになる	草刈作業回数	回	423	423	430	430
イ きれいになる	刈草の運搬台数	台	1,350	1,350	1,262	1,262
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	8,539	7,641	9,411	事業を活用した自治会等の延べ数		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	国分地区 221自治会 運搬量 424台	
	県支出金	0	0	0	溝辺地区 5自治会 運搬量 136台	
	地方債	0	0	0	横川地区 14自治会 運搬料 69台	
	その他	0	7,600	9,300	牧園地区 1自治会	
	一般財源	8,539	41	111	霧島地区 18自治会 運搬料 68台	
					隼人地区 150自治会 運搬料 583台	
					福山地区 2自治会 運搬料 5台	
					合計 430自治会 運搬料 1,262台	

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	市が実施することは妥当である
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→維持	取組自治会の数が多く、当日回収の対応が難しくなっていることから、回収箇所に優先順位をつけるなど効率の良い回収に努め、事業費の増大を抑制する。また、当日回収が必要な箇所については、複数業者への委託を検討するなど継続して事業が実施できるような体制を検討する。
② コスト(予算)の方向性	→維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1815 - 不法投棄対策事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。				款	04 衛生費
					項	03 清掃費
					目	02 塵芥処理費
				事業期間	平成7年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	廃棄物処理法・霧島市環境美化条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携しながら環境パトロールや看板設置及び啓発活動を行うとともに、不法投棄ごみの回収及び適正処理を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	10月1日人口	人	122,926	123,370	122,422	123,101
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 不法投棄をしてはいけないことを認識する	不法投棄に関するホームページ閲覧数	件	165	200	212	200
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	242	578	620	不法投棄禁止看板を作成し、環境美化推進員や環境保全協会と協力して看板の設置や環境パトロール等を行った。 (閲覧件数実績はR6年3月26日現在の件数)		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	98	37		
	一般財源	242	480	583		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)	
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和6年度から会計年度任用職員等の環境衛生指導員を任用する。引き続き不法投棄禁止看板設置や定期的な巡回パトロールを行い、現状をホームページ等で周知することで不法投棄の防止に努める。	
② コスト(予算)の方向性	→ 維持		

1. 基本情報						
事務事業名	1816 - ごみ処理場管理運営事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	02 塵芥処理費
				事業期間	平成15年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市数根清掃センターの設置及び管理に関する条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 霧島市数根清掃センターの維持や管理運営を行う事業。焼却設備の運転等については委託事業者が行い、ごみの受付や選別等は市が行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 家庭系ごみ、事業系ごみ	搬入量	t	35,700	39,000	37,461	38,500
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア ごみが適正に処理される	ごみ処理量	t	34,357	39,000	37,344	38,500
イ 適切に管理・運営される	排ガス測定検査でダイオキシンの基準値1ng-TEQ/gを超えた回数	回	0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		1,126,018	1,123,057	1,411,888	メーカーや委託業者と連携を図り環境基準を遵守しながら、継続的なごみ処理が行えた。また、施設設備が老朽化する状況の中で、延命化修繕を行うなど対策に取り組んでいる。 ○ごみ搬入量 可 燃 : 34,936t 不燃・粗大 : 2,525t
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	138,202	257,316	427,216	
一般財源	987,816	865,741	984,672		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	施設の老朽化に対し、(仮称)霧島市クリーンセンターを供用開始させる令和8年3月まで、引き続き延命化修繕を行うなど安定したごみ処理を目指す。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1817 - 安定型最終処分場管理運営事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	02 塵芥処理費
				事業期間	昭和40年代	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市一般廃棄物最終処分場の設置及び管理に関する条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 陶磁器等の安定品目を処分するため、市内の安定型最終処分場の管理運営を行う事業。運営はシルバー人材センターへ委託し、処分場の整備や管理は市が行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 安定品目の不燃ごみ	搬入台数	台	943	900	828	900
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適正に処理される	処分場の開場日数(各処分場合計)	日	70	72	72	72
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	1,979	2,040	2,976	市民生活の中で排出される陶磁器等の安定品目が適正に処理された。また、定期的な草刈りや必要な整地を行い処分場の適正管理が図られた。 ○搬入台数 828台	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,979	2,040	2,976	

5. 振返り<SEE (check)>		
妥当性	① この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	② この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③ 廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④ 成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤ 事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥ 事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1819 - (仮称)霧島市クリーンセンター整備・運営事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	02 塵芥処理費
				事業期間	令和元年度～令和7年度	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>						
新しいごみ処理施設(仮称)霧島市クリーンセンターの整備等を行う事業						

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 整備状況	整備進捗率	%	5	12	12	30
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 当該事業の管理を適正に行う	計画に対する整備進捗率	%	5	12	12	30
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)		214,248	980,119	2,405,087	新しいごみ処理施設(仮称)霧島市クリーンセンターの整備が計画のとおり進捗した。 ○工事進捗率 基礎杭の工事から建屋3階部分のコンクリート打設まで行い全体工程中12.2%が完了	
財源内訳	国庫支出金	28,078	235,325	699,725		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	173,600	513,900	1,425,100		
	その他	0	200,000	200,000		
	一般財源	12,570	30,894	80,262		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報						
事務事業名	1820 - し尿処理場管理運営事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。			算	款	04 衛生費
				科	項	03 清掃費
				目	目	03 し尿処理費
				事業期間	平成11年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	霧島市し尿処理場の設置及び管理に関する 条例等
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理基本計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

霧島市南部し尿処理場及び牧園・横川地区し尿処理場の維持や管理運営を行う事業。し尿処理設備や建物等の修繕については市が行い、管理運営については指定管理者が行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア し尿・浄化槽汚泥	し尿・浄化槽汚泥搬入量(2施設の合計)	kℓ	68,667	68,000	69,503	68,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア し尿等が適正に処理される	し尿・浄化槽汚泥処理量(2施設の合計)	kℓ	68,667	68,000	69,503	68,000
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		264,185	234,602	240,392	必要な施設設備の補修を行い、排出基準を遵守しながらし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理した。また、搬入道路等の清掃を定期的に行うなど環境美化に努めた。 ○汚泥搬入量 し尿汚泥:14,270kℓ 浄化槽汚泥:55,233kℓ
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	12,025	12,169	12,103	
一般財源	252,160	222,433	228,289		

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→ 維持	事業及びコストの方向性が「維持」の場合は、改革改善内容の記載は不要としています。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報									
事務事業名	2211 - 海岸漂着物対策推進事業					所属	環境衛生課		
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)					予	会計		
施策名	1. 自然と共生する良好な生活環境の形成							01	一般会計
基本事業名	1. 自然環境の保全					算	款		
基本事業の内容 (総合計画より)	①森林の有する多面的機能の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。 ②希少野生動植物の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。							04	衛生費
						目	目	02	環境衛生費
								02	環境対策費
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	海岸漂着物処理推進法			
	①森林 ②野生動植物		①多面的機能が発揮される ②生息・生育場所が保全される			霧島市環境基本計画			
事業期間		平成22年度～							
関連計画									

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>
 本市沿岸に集積された海岸漂着物等の回収処理を行う事業。主に小浜海岸、国分海岸、敷根海岸、福山海岸への漂着物の回収を行う。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 海岸	海岸延長	m	33,344	33,344	33,344	33,344
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア ごみがない状態に保つ	海岸漂着物の回収量	t	34	50	18	50
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)		1,681	349	4,537	漂着物が確認された沿岸地域(海岸延長7,095m)において、沿岸地域の公民館等のボランティアと連携を図り、民間事業者委託により回収処理を実施し、海岸の良好な景観の保全を図った。漂着物の量や場所によっては職員で回収処分を行った。令和5年度は霧島市への台風上陸等の漂着物の発生要因が少なかったため、回収量は減少した。
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	243	3,207	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	1,681	106	1,330		

5. 振返り<SEE (check)>			
妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はない
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	削減できない
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	削減できない
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないかまた、受益者負担の公平性が確保されているか	公平・公正である

6. 評価結果<(Action-PLAN)>		
(1)今後の事務事業の方向性		(2)令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	→維持	令和6年度から錦江湾クリーンアップ事業が環境衛生課の事業となるため、連携して事業を実施し、効率よく回収出来る体制を検討する。
② コスト(予算)の方向性	→維持	

1. 基本情報						
事務事業名	2671 - 牧園横川クリーンステーション管理運営事業					
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)			所属	環境衛生課	
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成					
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理			予 算 科 目	会計	01 一般会計
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。				款	04 衛生費
					項	03 清掃費
					目	02 塵芥処理費
				事業期間	令和5年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	牧園横川クリーンステーションの設置及び管理に関する条例
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	霧島市一般廃棄物処理計画

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

伊佐北始良環境管理組合から本市が脱退することに伴い、横川町・牧園町の方がごみを直接搬入できるごみ集積場を整備・運営するもの。

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 市民	利用台数	台	0	8,663	9,341	9,341
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 気持ちよくステーションを利用できる	利用台数に対する苦情の割合	件	0	0	65	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移		R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果
事業費(千円)	660	21,849	24,030	未来館に搬入していた令和4年度よりも搬入台数は増えた。距離が近くなったことや資源物のみの搬入が無料になったことによるものと考える。	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	21,800	24,000	
	一般財源	660	49	30	

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	令和5年度の利用実績と令和6年4月のごみ処理手数料改定後の利用台数を照らし合わせながら、ごみの受入区域の拡大の検討を進める。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	

1. 基本情報								
事務事業名	2710 - 高齢者等ごみ戸別収集事業					所属	環境衛生課	
政策名	2. 暮らし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)							
施策名	2. 地球にやさしい循環型社会の形成							
基本事業名	2. ごみの適正な排出・処理					予	会計	
基本事業の内容 (総合計画より)	①ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。 ②安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。					算	01	一般会計
						科	04	衛生費
						項	03	清掃費
						目	02	塵芥処理費
						事業期間	令和5年度～	
基本事業の対象・意図	対象(誰・何を)		意図(どうしたいか)		根拠法令 条例等	特になし		
	①市民・事業者 ②廃棄物		①ごみを適正に排出してもらう ②安定的で効率的に処理される		関連計画	一般廃棄物処理計画		

2. 事務事業の事業概要・目的・指標<Do>

高齢化社会や核家族化の進展等に伴い高齢者や障がい者のみの世帯が増加することにより、家庭からの日々のごみ出しに課題を抱える事例も生じており、これらの課題を解決するため、シルバー人材センター等へ委託し、戸別収集する事業

対象(誰に、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位	R4(実績)	R5(見込)	R5(実績)	R6(見込)
ア 利用者	利用者数	人	0	210	51	70
イ 利用者	利用回数	回	0	10,920	988	988
ウ			0	0	0	0
意図(対象をどうしたいのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位	R4(実績)	R5(目標)	R5(実績)	R6(目標)
ア 適切にごみを出すことができる	利用回数に対する苦情の割合	件	0	0	2	0
イ			0	0	0	0
ウ			0	0	0	0

3. 事業費推移	R4(決算)	R5(決算)	R6(予算)	4. 令和5年度の実績・成果	
事業費(千円)	0	113	642	当初に想定した利用者数よりは少なかった。今後も事業の周知を図っていきたい。	
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他	0	100		600
	一般財源	0	13		42

5. 振返り<SEE (check)>

妥当性	①	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついているか	結びついている
	②	この事業を市が行う必要があるか？ 税金を投入して達成する目的か	実施すべき又は実施しなければならない事業
	③	廃止・休止の影響はあるか	影響がある
有効性	④	成果が向上する余地(可能性)はあるか	向上する余地はある
効率性	⑤	事務事業の手段を工夫することで、事業費を削減できないか 補助金など、交付先に働きかけて市の負担を削減できないか	***
	⑥	事務事業のやり方(DX・外部委託等)を工夫することで、業務時間を削減できないか	***
公平性	⑦	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか また、受益者負担の公平性が確保されているか	***

6. 評価結果<(Action-PLAN)>

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 令和6年度以降の改革改善内容(取り組むべき課題)
① 事業(成果)の方向性	↑ 拡充	情報政策課に依頼し、利用者の管理システムを構築する。 委託先との連絡の漏れを防止する対策を検討する。 利用者にルールをきちんと守ってもらう方法を検討する。
② コスト(予算)の方向性	→ 維持	